

## PFIに係る民活導入可能性調査の実施について

### ■ PFI (Private-Finance-Initiative) とは

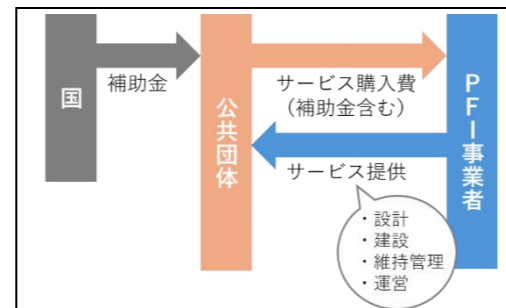
#### <概要>

民間の資金と技術（ノウハウ）を活用し、公共施設の設計・建設・改修・更新や、維持管理・運営を行う公共事業の手法。公的財政負担を縮減し、質の高い公的サービスを提供することを目的とする。

#### <学校施設整備におけるPFIのメリット>


- 事業期間全体を通じた公的財政負担が縮減できる
- 地方公共団体の負担を事業期間中で平準化できる
- 施設の維持管理サービス水準が高くなる
- 民間の事業機会を創出し、経済が活性化
- 複合施設との連携により、新たな教育的な効果生まれる
- 公共学校施設の地域利用が促進される など

#### <イメージ図> ※サービス購入型の場合



### ■ 公共学校施設整備 PFI の事例

#### (1) 調布市立調和小学校（東京都 調布市）

	2校を統合した小学校を新設し、地域図書館や地域開放を行う体育館・温水プールを一体的に整備。			
	事業期間		財政負担の削減効果 (VFM)	
	約16年間(H13.3~H29.3)		約17%	
事業範囲				
設計	建設	維持管理	運営	
市	民	民	学校・地域図書館	プール(開放時)
市	民	民	市	民

(写真：調布市立調和小学校 HP より引用)

#### (2) 義務教育学校水橋学園（富山県 富山市）

	水橋地区の5小学校と2中学校を統合した義務教育学校を整備。			
	事業期間		財政負担の削減効果 (VFM)	
	約17年(R5.6~R23.3)		約25.5%	
事業範囲				
設計	建設	維持管理	運営	
民	民	民	市	

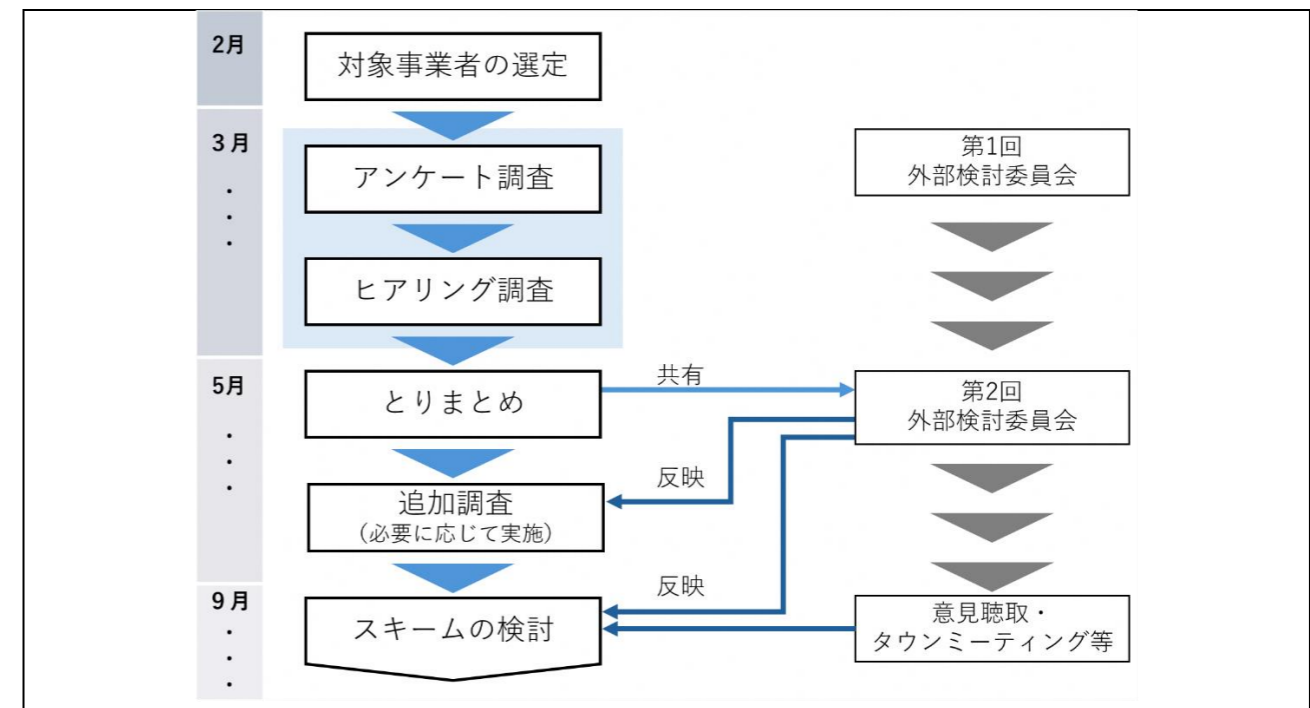
(画像：「水橋地区学校統合推進委員会 ニュースレター第3号」より引用)

### ■ 民活導入可能性調査

#### <概要>

- 本事業における義務教育学校の整備にあたって、PFI手法の導入可能性を検討するため、民活導入可能性調査を実施する。
- 調査は、民間事業者を対象とした「アンケート調査」および「ヒアリング調査」の2段階に分けて、以下のフローに沿って行う。

#### <調査フロー>



#### <アンケート調査概要>

対象事業者	建設、運営、維持管理事業者 →事例、実績、事業との親和性を考慮して選定
調査方法	① 郵送 ② メール
内容	・事業への関心の有無 ・参画可能性を有する事業手法 ・参画可能性を有する候補地 ・民活導入の具体的なアイデア ・ヒアリングへの参加可否 など

#### <ヒアリング調査概要>

対象事業者	建設、運営、維持管理事業者 →アンケート調査の結果を基に選定
調査方法	① 対面 ② オンライン
内容	・事業への関心の有無 ・参画可能性を有する事業手法 ・参画可能性を有する候補地 ・民活導入の具体的なアイデア など